

身心変容技法研究会

平成24年12月6日

「吾に恥見せつ」を考える

「負の感情」の発生と鎮め方

選択性緘黙だった青年との面接過程

ホムチワケに見る「反英雄」のイニシエーションの視点から

島根大学教育学部 高見 友理

選択性緘黙だった青年との面接過程

ホムチワケに見る「反英雄」のイニシエーションの視点から

1. はじめに

ホムチワケの説話

スサノヲとホムチワケのイニシエーションの比較

「吾に恥見せつ」について

2. 事例の紹介

「緘黙」とは

クライアントが取り組んだ「感覚」の語り

→「身体性を伴った語り」

3. ホムチワケ理解 ⇔ クライアント理解

4. おわりに

「負の感情」の発生と鎮め方について

スサノヲ

共通点

ホムチワケ

鬚が胸に届くようにな
なっても…

泣いてばかりいる。 ●————● 喋らない。

- ・ 一世代前の葛藤の影響+。
- ・ 母の「負の感情」をダウンロードされた息子。

母イザナミ：
呪詛する死の母

母サホビメ：
守り/見捨てる母

- ・ 異界に引き寄せられる布置。

「亡母に会いたい」
黄泉の国に行きたい。



喋らない理由：
出雲の大神の祟り

スサノヲ

相違点

ホムチワケ

英雄の
イニシエーション

日本の
カルチャー

反英雄の
イニシエーション

攻撃性が外向き:乱暴

達成したこと→自分



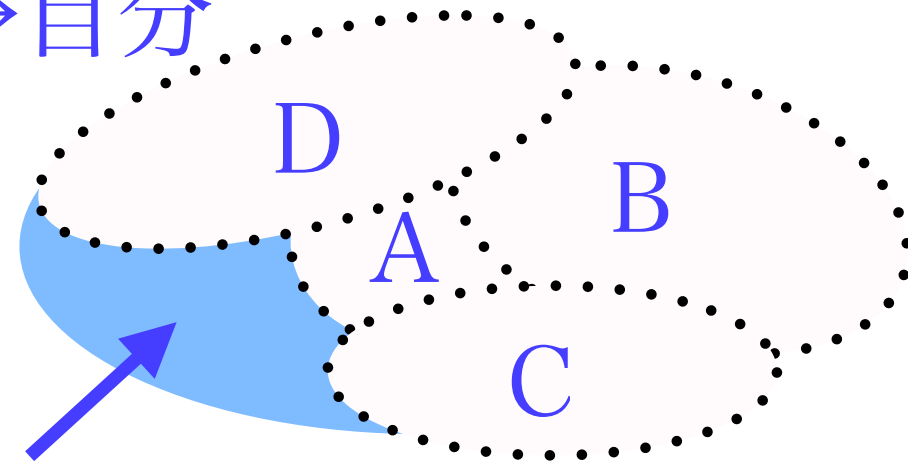
私=A

「これが自分だ！」

攻撃性が内向き:緘黙

共同体への否定を反復

→自分



私=not (A+B+C+D)

「少なくとも～でない」

「異形の異界の住人」と「この世の住人」の間の

「結合と分離の結合」

死の世界
イザナミ
身体:腐敗

見るなの禁
「吾に恥見せつ」

見る
逃げる

生の世界
イザナギ

神の世界
大物主
蛇身

見て驚くなの禁
「吾に恥見せつ」

海を照らして寄り来る神

驚く
自死

人間の世界
ヤマトトヒモソヒメ

出雲
ヒナガヒメ
蛇身

~~見るなの禁~~
~~「吾に恥見せつ」~~

海を照らして寄り来る神

驚く
逃げる

大和
ホムチワケ

2. 事例の紹介（選択性緘黙: Selective Mutism）

かん【緘】

とじること。特に、手紙・書類などの封じ目。また、そこに書く文字。（大辞泉）

- 緘黙とは、**原因によらず、明瞭な言語反応が欠如した状態**を指す。
- 学校教育法上は、**情緒障害**の一つとされる。
狭義には、言語能力を獲得しているにもかかわらず、何らかの心理的要因によって、一時的にあらゆる場面、あるいは特定の場面においてのみ、言葉を発しない状態を指す。教育臨床分野においては、暗黙に狭義の意味で用いられることが多く、**場面緘黙、選択性緘黙**、などの呼び方をする。
- **緘動**：身体がフリーズしたような状態。発熱や身体的苦痛を感じにくい。自分をケアするような動きが出来ない。

2. 事例の紹介

○クライアントに見る「緘黙」という症状選択の意味とは？

日々創造される
神経症構造

→ 共同体とのコミュニケーションを拒否
共同体への参入を拒否・退却
(これが貫ききれずに、否定性が自分に向かう)



自らに与えられている生の祝福を否定。



「居ちゃいけない」

(しかし、共同体に居ることにこだわり+)

○青年になって喋るようにはなったが…、
過度の対人緊張、身体性の問題（緘動傾向）の問題も。

→事例経過へ。

3. ホムチワケ理解 ⇔ クライエント理解

心理療法で行ったこと：

①Aの感覚の世界を解放し、表現する試み

- ・言葉によって
- ・イメージによって
- ・身体性によって

②神経症構造（自己関係）を見通す作業。

イメージ（#131～ウサギ、トラ、カメ）の自律的な動きによって、否定性の発信源が自分にあることに気づく。

3. ホムチワケ理解 ⇔ クライアント理解

心理療法で行ったこと：

③否定性によって「自分」を作っていく。

共同体を否定していたCが、心理療法の世界を否定出来たことを経由して、共同体に参入していった。

- ・ Aの変容 長い時間を要す。
 - 瞬間で決まる。←物語展開になりにくい。
 - ユング：「結合と分離の結合」
 - ex. #1後の自殺企図とセラピーへの参入
 - ex. A≡ホムチワケの
異界に対する否定と現実への参入

ホムチワケ

否定性によって
境界/秩序/主体(自分)
が成立
「結合と分離の結合」

A

異界(出雲)

喋る
聖婚(結合)

ヒナガヒメ

追う

(分離)

逃げる ②異界を否定

ホムチワケ

共同体に
参入

①共同体を否定

喋らない

現実(大和)

異界(セラピー)

「居てもいい」
治療関係(結合)

Th

見捨てる
追う

(分離)

別のTh
返信- ②異界を否定

A

共同体に
参入(結婚)

①共同体を否定

「居ちゃいけない」

現実生活

ホムチワケ

ユング「両者が第三のもの
の変容によって襲われ、
変容する」

A

守り/見捨てる
母:サホヒメ

守り/見捨てる

母

②分離

②分離

ヒナガヒメ

Th

①分離

①分離

ホムチワケ

A

③参入

③参入

現実(大和)

現実生活

3. ホムチワケ理解 ⇔ クライアント理解

心理療法で行ったこと：

- ④ 身体性を伴った語り と、ThからのReflect、共有。
 - 身体性の変容（緘動→動）。
 - ～ 涙、鼻水
 - ～ 「浮かんできたままに話す(#191)」という動きだすもの（魂、第三のもの、モノ）を体験。
 - ～ 自我によって抗わず、流れや動きに委ねる、添う、乗る。チューニング、調和する。

4. おわりに

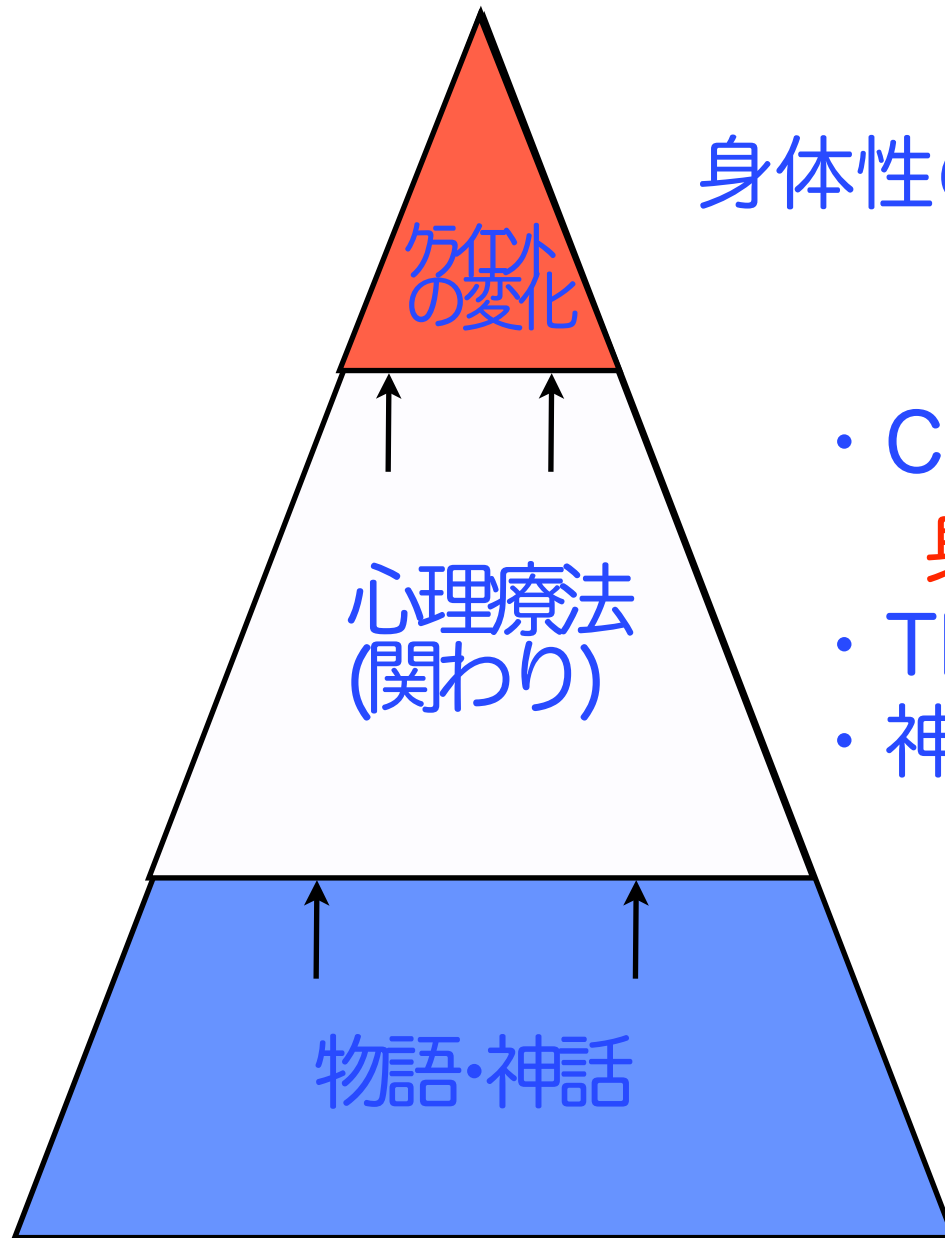
「負の感情」の発生

- ・ 死／生、神／人間、出雲／大和といった境界の発生、世界の分節化、秩序形成
→負の感情、穢れ、シャドーが発生。

鎮め方について

- ・ 鎌田東二「古事記ワツダ -ラソト」(2012)
古事記：独特の歌謡的身体性をもつテキスト。
歌(詩)によって負の感情(嘆き・悲嘆)を慰撫。
“グリーフケア、スピリチュアルケアの書”

4. おわりに 心の鎮め方について～事例から考察



身体性の変容 (緘動→動)

- CIの感覚の世界を表現。
身体性を伴った語り
- ThからのReflect、共有。
- 神経症構造を見通す。
- Thの理解(見たて)
神話との類比
反英雄のイニシエーション

<参考文献>

- (1) 老松克博:スサノヲ神話で読む日本人 臨床神話学のこころみ, 講談社選書メチエ,1999
- (2) 鎌田東二:古事記ワンダーランド, 角川選書, 2012
- (3) 河合俊雄:概念の心理療法,日本評論社,1998
- (4) 河合俊雄:心理臨床の理論,心理臨床の基礎 2,岩波書店,2000
- (5) 河合隼雄:神話と日本人の心, 河合隼雄著作集 第Ⅱ期 6 , 岩波書店, 2004
- (6) 河合隼雄:湯浅泰雄 吉田敦彦:日本神話の思想 スサノヲ論, 歴史と日本人, ミネルヴァ書房, 1983